

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,244	4.4	183	9.6	185	10.3	117	28.7
27年3月期第1四半期	1,192	5.1	167	△3.1	168	△5.0	90	△35.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 113百万円(23.6%) 27年3月期第1四半期 92百万円(△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	14.89	—
27年3月期第1四半期	11.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,926	2,905	49.0
27年3月期	5,939	2,909	49.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,905百万円 27年3月期 2,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0 00	—	15 00	15 00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		0 00	—	15 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	9.3	630	3.1	640	2.6	420	△19.0	53 41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期1Q	8,257,600株	27年3月期	8,257,600株
28年3月期1Q	393,559株	27年3月期	393,559株
28年3月期1Q	7,864,041株	27年3月期1Q	7,864,496株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和により、企業収益や雇用の改善が進み、所得環境へも波及の兆しがみられるなど、景気はゆるやかに回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループでは、主力各商品のバージョンアップ販売を着実に進めるとともに、顧客基盤の拡大にも注力してまいりました。また、これまで以上に、長期的視点で持続的な成長に向けた取り組みを推進すべく、当社の企業統治体制を見直し、監査等委員会設置会社へと移行いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して4.4%増加し1,244百万円となりました。利益面では、人員の増強により人件費をはじめとするコスト増はあったものの、経常利益は、前年同期に比して10.3%増加し185百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損18百万円などがあったものの、税金費用が軽減したことから、前年同期に比して28.7%増加し、117百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

① 建設関連事業

建設関連事業につきましては、公共工事の品質確保の促進に関する法律等が改正されたことに伴い土木工事積算システムのニーズが高まったことから、販売が堅調に推移しております。また、情報共有システムのシェア拡大に向けて積極的な活動を展開しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は、前年同期に比して9.0%増加し、927百万円となりました。また、売上高の増加が利益に反映し、セグメント利益は前年同期に比して87.2%増加し、153百万円となりました。

② 設備関連事業

設備関連事業につきましては、引き続き紹介案件やバージョンアップ販売の増加に努めるとともに、図面作成代行サービス「図面作成レスキュー隊」など、新しいサービスの開発に取り組んでまいりました。しかしながら、当連結会計年度の売上高は、期初の立ち上がり、好調であった前年度を下回ったことから、前年同期に比して7.3%減少し317百万円となりました。

利益面では、人員増によるコスト増加などにより前年同期に比して63.9%減少し、32百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて126百万円減少し、4,327百万円となりました。これは主に、現金及び預金が52百万円、未収入金の増加93百万円を含めその他の流動資産が97百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が245百万円、繰延税金資産が29百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて113百万円増加し、1,598百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が33百万円、投資有価証券が78百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、5,926百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少し、1,383百万円となりました。これは主に、未払金の増加53百万円を含むその他の流動負債が44百万円、前受収益が42百万円それぞれ増加し、賞与引当金が75百万円、未払法人税等が65百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加し、1,637百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が12百万円、長期前受収益が34百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、3,020百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、2,905百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じ、49.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、1,671百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間末における営業活動により増加した資金は280百万円（前年同四半期は314百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益172百万円や売上債権の減少額245百万円などの収入、賞与引当金の減少75百万円や法人税等の支払額121百万円などの支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間末における投資活動により減少した資金は126百万円（前年同四半期は60百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出13百万円（純額）、投資有価証券の取得による支出100百万円、関係会社貸付けによる支出9百万円などがあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間末における財務活動により減少した資金は114百万円（前年同四半期は113百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額114百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成27年5月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,247,489	2,300,428
受取手形及び売掛金	894,079	648,106
有価証券	968,561	967,978
商品及び製品	8,480	5,445
原材料及び貯蔵品	4,365	5,314
繰延税金資産	254,255	225,015
その他	78,238	175,809
貸倒引当金	△1,150	△350
流動資産合計	4,454,320	4,327,747
固定資産		
有形固定資産	224,927	226,234
無形固定資産		
のれん	288,488	283,211
その他	36,530	33,552
無形固定資産合計	325,019	316,763
投資その他の資産		
投資有価証券	229,031	307,277
その他	712,860	755,130
貸倒引当金	△6,289	△6,625
投資その他の資産合計	935,603	1,055,783
固定資産合計	1,485,550	1,598,782
資産合計	5,939,870	5,926,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,685	89,938
未払法人税等	114,684	49,004
前受収益	720,959	763,134
賞与引当金	182,961	107,558
その他	329,608	373,987
流動負債合計	1,439,900	1,383,622
固定負債		
退職給付に係る負債	451,366	463,972
長期前受収益	1,136,763	1,170,994
その他	1,960	2,240
固定負債合計	1,590,089	1,637,206
負債合計	3,029,990	3,020,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	1,203,496	1,202,615
自己株式	△86,019	△86,019
株主資本合計	2,901,960	2,901,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,919	4,621
その他の包括利益累計額合計	7,919	4,621
純資産合計	2,909,880	2,905,700
負債純資産合計	5,939,870	5,926,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,192,208	1,244,324
売上原価	278,291	274,152
売上総利益	913,917	970,171
販売費及び一般管理費	746,649	786,880
営業利益	167,267	183,291
営業外収益		
受取利息	1,979	2,191
受取配当金	52	32
雑収入	623	1,222
営業外収益合計	2,656	3,446
営業外費用		
支払利息	12	12
障害者雇用納付金	640	520
雑損失	867	376
営業外費用合計	1,519	909
経常利益	168,403	185,828
特別利益		
事業譲渡益	-	5,000
特別利益合計	-	5,000
特別損失		
固定資産除却損	24	8
投資有価証券評価損	-	18,721
特別損失合計	24	18,729
税金等調整前四半期純利益	168,379	172,098
法人税、住民税及び事業税	30,686	58,719
法人税等調整額	46,700	△3,700
法人税等合計	77,386	55,019
四半期純利益	90,992	117,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,992	117,079

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	90,992	117,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,096	△3,298
その他の包括利益合計	1,096	△3,298
四半期包括利益	92,088	113,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,088	113,780
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,379	172,098
減価償却費	10,287	10,793
のれん償却額	7,877	5,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	294	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△107,407	△75,403
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	280	280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,536	12,606
受取利息及び受取配当金	△2,032	△2,224
支払利息	12	12
事業譲渡損益(△は益)	-	△5,000
投資有価証券評価損益(△は益)	-	18,721
固定資産除却損	24	8
売上債権の増減額(△は増加)	410,565	245,122
たな卸資産の増減額(△は増加)	△946	2,085
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,369	△1,747
未払又は未収消費税等の増減額	△427	△51,045
前受収益の増減額(△は減少)	12,602	42,174
長期前受収益の増減額(△は減少)	△2,912	34,231
その他	4,095	△8,343
小計	492,856	399,640
利息及び配当金の受取額	2,779	2,792
利息の支払額	△12	△12
法人税等の支払額	△181,443	△121,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,179	280,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△204,600	△213,500
定期預金の払戻による収入	164,400	200,000
有価証券の取得による支出	△243,999	△63
有形固定資産の取得による支出	△4,598	△4,835
無形固定資産の取得による支出	△5,188	△4,295
投資有価証券の取得による支出	-	△100,000
投資有価証券の売却による収入	243,927	-
関係会社貸付けによる支出	△10,207	△9,000
事業譲渡による収入	-	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△84	△72
敷金及び保証金の回収による収入	178	211
保険積立金の積立による支出	△52	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,225	△126,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△242	△242
自己株式の取得による支出	△246	-
配当金の支払額	△113,121	△114,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,610	△114,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,343	39,438
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,200	1,631,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,565,543	1,671,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	850,250	341,957	1,192,208	—	1,192,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,697	—	3,697	△3,697	—
計	853,947	341,957	1,195,905	△3,697	1,192,208
セグメント利益	82,188	90,356	172,544	△5,277	167,267

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	927,153	317,171	1,244,324	—	1,244,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,277	1,800	7,077	△7,077	—
計	932,430	318,971	1,251,401	△7,077	1,244,324
セグメント利益	153,863	32,605	186,468	△3,177	183,291

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去2,100千円及びのれん償却額△5,277千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。